

## ご入園・ご進級 おめでとうございます！

お子様のご入園、ご進級、おめでとうございます！

令和7年度が始まりました。子どもたちは新年度への希望と期待で胸がいっぱいに膨らんでいることと思います。新しい学年に進級したお子様は、もも組はばら組に、ばら組はすみれ組に、すみれ組はさくら組にそれぞれ進級し、それぞれまた新しい環境でのスタートとなります。新しい教室で、新しい友達、新しい先生に出逢い、ワクワクドキドキの子どもたちです。

お子様が初めて入園された保護者の方は、新しい環境へ不安もあるかと思えます。元気に登園できるお子様もいれば、泣いてお母さんからなかなか離れられないお子様もいます。そんな時は、焦らず暖かく受け止めてあげてください。不安を抱えているお子様の気持ちに寄り添い、温かい言葉をかけてあげてください。いずれ子どもたちは、幼稚園生活に馴染んでいきます。それでも心配な時は遠慮なくご相談ください。

今年度も、運動会、生活発表会、どりーむコンサートの3大行事を柱に、子どもたちが主役となって、元気に楽しく園生活を送ることができるよう、職員一同努めてまいります。ご協力、よろしくお願いいたします。

【令和6年の運動会の様子です。】



## 日本最古のソメイヨシノ

園の桜の花も、まもなく満開をむかえます。桜がとてもきれいに見えるのは、全部の木が一齐に花を咲かせるからです。こんなに見事に一齐に花を咲かせる植物は他にありません。どうしてでしょう。全国にある桜の7割から8割がソメイヨシノという品種です。特に、公園や並木通りの桜は、ほぼ100%がソメイヨシノだそうです。このソメイヨシノはわずか1本の原木から接ぎ木によって繁殖し、何代も何代も代を重ねて現在に至っているのだそうです。別な言い方をすれば、1本の木からのクローンということになります。ソメイヨシノは、すべて同じ遺伝子、同じ性質を持った桜であるということです。これがすべてのソメイヨシノが一齐に咲き、一齐に花を散らす理由なのだそうです。

開成山公園にあるソメイヨシノの樹齢は150年以上と科学的に診断されています。この地域を開拓した開成社が明治11年(1875年)に3900本植栽したうちの1本の可能性が高く、日本最古のソメイヨシノだそうです。お花見がてら、日本最古のソメイヨシノを探してみたい方はいかがですか。

【開成山の日本最古のソメイヨシノ(ヒントは桜通り側)】



令和 7 度の本園の教育方針は次のとおりです。

## 子どもたちのあそびを深める保育をしよう

### I 子ども第一主義（子どもの笑顔を最優先）

- 1 子どもひとりひとりに愛情をもってかかわり，その子どもの育ちをよく理解する
  - ・子どもたちの興味・関心を感じとり，一人一人に寄り添った保育を考える
  - ・保育者も一緒に子どもたちと楽しみながらあそびを深めていく
  - ・「躰の三原則」と立腰の継続

挨拶「おはようございます」

名前を呼ばれたら「ハイ」と返事する

履物を揃える，立ったら椅子を中に入れる

立腰（正しい姿勢を身に付ける）

- 2 子どもにも保護者にも安心・安全な環境を整える

- ・子どもたちの安全確保

園外保育，園バス使用時の人数確認，安全確認

毎朝の出欠確認の徹底

- ・流行する病気，感染状況を把握し，適切に対応する

教室の清掃，整理，整頓

- ・固定遊具の点検（危険個所の確認）

- ・自然災害（地震，台風等）の発生に備える

避難訓練の実施

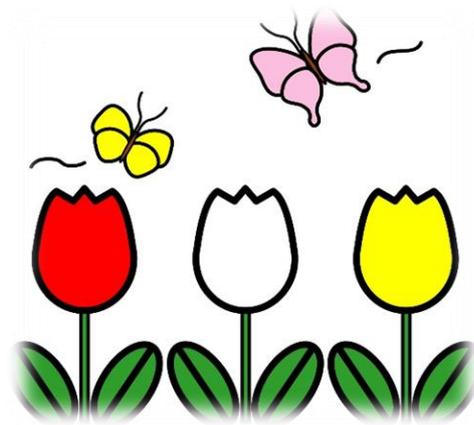
- 3 子どもたちに多様な体験をさせ，感性を育てる

- ・園外保育（公園など）へ出かける

- ・日本の良き伝統を伝える・・・「温故知新」

日本古来の行事について，保育者自身がよく理解し，折に触れ子どもに伝える

日本古来の行事について，毎月園だよりにて保護者に知らせる



### II 幼稚園教育要領への対応

→幼児期の終わりまでに（卒園する時に）育ててほしい 10 の姿

※国が示しているもの⇒幼児教育無償化の根拠

幼児期の終わりまでに（卒園する時に）育ててほしい 10 の姿

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 健康な心と体       | 6 思考力の芽生え          |
| 2 自立心          | 7 自然との関わり・生命尊重     |
| 3 協同性          | 8 数量・図形，文字等への関心・感覚 |
| 4 道徳性・規範意識の芽生え | 9 言葉による伝え合い        |
| 5 社会生活との関わり    | 10 豊かな感性と表現        |